

研究実施のお知らせ

2020年4月4日 ver.1.0

研究課題名

プロスタグランディン関連眼窩周囲症の集計

研究の対象となる方

2020年3～4月に島根大学医学部附属病院眼科を受診された緑内障点眼治療中の方

研究の目的・意義

プロスタグランディン関連薬（PG薬）は、緑内障の治療のために処方される薬剤の内、最も高頻度に使用される点眼薬です。PG薬は、眼圧下降に優れ、全身的な副作用がほとんど無い一方で、睫毛が太くなる、まぶたの皮膚に色素が沈着する、眼がへこんだような印象になる、といった見た目の副作用が高頻度に起こります。これらの合併症はプロスタグランディン関連眼窩周囲症（PAP）と呼ばれています。島根大学では、独自の分類表（SU-PAP分類）を用いて、PAPの程度を評価しています。本研究では、島根大学を受診された緑内障患者さんのPAPがどの程度であるかを、SU-PAP分類に基づいて集計することを目的としています。本研究により、PAPの程度も含めた分布がどの様になっているかを明らかにすることができます。

研究の方法

対象となる患者さんの電子カルテから年齢、性、眼圧、使用している緑内障薬剤、SU-PAP分類のスコアを調査します。

全てのデータは匿名化して扱います。収集したデータは、島根大学医学部眼科学講座内の外部から容易にアクセスできないPCに保管します。PCにはセキュリティを設定し、パスワードで使用可能な研究者を制限します。

研究に関するデータ及び関連資料（研究に関する手続き資料を含む）は、研究の終了を報告してから少なくとも5年間保管し、その後消去します。

研究の結果は、眼科関連の学術誌および学会で公表します。

なお、利用停止のお申し出は、2020年7月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えません。

研究の期間

2020年5月（研究許可後）～2021年3月

研究組織

この研究は島根大学医学部眼科学講座が行います。

研究責任者（研究で利用する・情報の管理責任者）：

島根大学医学部眼科学講座 谷戸正樹

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部眼科学講座 谷戸正樹（たにとまさき）

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2284 FAX 0853-20-2278